

週刊

愛知民報

2021年
1月24日
第2522号

発行所 愛知民報社

〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号

愛知あかつき会館内

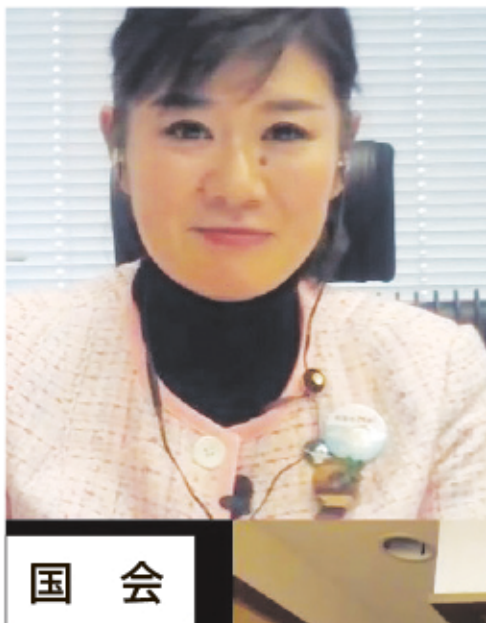
☎(052) 251-2925 F A X (052) 261-6063

定価 月 400円 郵送料 168円 1部 100円

毎週日曜日発行(第5日曜日は休刊)

1966年7月31日第三種郵便物認可

核兵器禁止条約 1月22日発効



国会

もとむら伸子 さん

父親が長崎で被爆
日本共産党衆議院議員(比例東海)

新時代開く リモート対談



名古屋

自身が広島で被爆
名古屋大学名誉教授・物理学者
沢田 昭二 さん

1月22日の核兵器禁止条約発効を前に、被爆者で物理学者の沢田昭二さんと、被爆2世の、もとむら伸子日本共産党衆議院議員(比例東海)が、名古屋—国会間をインターネットで結ぶ“リモート対談”をしました。(司会：村瀬和弘本紙記者)

総選挙で条約に参加する 新しい政権をつくらう

倒壊した家の下敷き

母助け出せず焼死

もとむら 沢田先生、名古屋駅前では昨年10月、菅首相といっしょに街頭演説させていただきました。今日は、核兵器禁止条約発効の対談よろしくお願いします。お願ひいたします。まず、被爆体験をお聞かせください。

沢田 私、私が広島で被爆したのは中学2年生の時です。病気で学徒勤労働員に行くのをやめて自宅で寝ているときに被爆して、倒壊した家の下敷きになりました。這い出した時、原爆で破壊された広島中の家屋の端切れが上空を覆って朝の太陽光線をさきぎって、あたりは暗闇でした。

同じ部屋で下敷きになった母を助けようとしていた間中、母は下敷きになった家屋に火の手が上がる中で、私に、「世界で役立つ立派な人間になれ」と言い続けました。3日後によろやく焼け跡に入ることができ、母の骨

を見つけて母の美家に持ち帰りました。3日間、弟を探して地獄のようになった広島中を歩き回りました。

もとむら 私は、被爆2世です。父が長崎出身で、あと1カ月で5歳になる時に神社で遊んでいた際に被爆しました。父の弟は、原爆の光線を正面から浴びてその年のうちに亡くなりました。

被爆当時、皮膚がケロイド状になった被爆者の方々が街中にさまよっていたそうです。私は被爆2世として、核兵器廃絶を政治活動の柱にしています。

「核兵器は悪」の 国際世論強くなる

もとむら 昨年8月6日の広島市の平和記念式典に、志位和夫委員長とともに参列しました。当時、安倍首相の時でした。私たち日本共産党は、日本政府に核兵器禁止条約にサインするよう強く求めて

出かけて核兵器廃絶の運動を世界に広げました。2017年7月に世界の3分の2に近い122カ国がニューヨークの国連本部に集まって核兵器禁止条約を制定しました。

国際紛争の解決に武力を使わないとした国連憲章から72年、市民運動と連携した国々が国連の多数になって核兵器保有国の反対をはねのけて「核兵器は悪」という条約を制定しました。

国連は核兵器保有国が支配してきた安全保障を「平和のクリエーター」と評価しました。

米国べったりだす

共産党の躍進に期待

沢田 人類社会は、核兵器禁止条約にもとづく運動で世界から核兵器を廃絶し、これまでにない新しい時代になつていく可能性がります。高齢の被爆者から学んで、若者がこの運動をリードしていく時代ですね。

もとむら 核兵器に使うお金をコロナ克服に回せという声が広がっています。日本の管政権は、アメリカの新大統領との共同声明に、核兵器の傘で日本を防衛すると書きこむとしています。まったく逆行です。

沢田 アメリカべったりの政治をただす日本共産党の躍進に期待します。